

なるたき

NARUTAKI

新見公立大学地域共生推進センター

〈目次〉

- P2 学科紹介
- P3 サークル紹介
- P4 大学行事
- P5 食材提供
- P6.7 | ターンで新見に！
- P8 ふりゆりパンめぐり
編集後記



大学全体

新館外観



～第2号を発行するにあたって～

フリーペーパー「なるたき」により、新見公立大学や新見市の「いいな！」「すごいな！」「伝えたいな！」を学生目線で発信し、大学と地域をつなぐ役割を担えたらと思います。



看護実習室



講堂



コミュニティカフェ



ビューラウンジ

健康科学部学科紹介

この学科紹介は、新見公立大学健康科学部で学んでいる1年生の手記を通して、地域の方々はもちろん、中学・高校生に学生の生の声で各学科での生活を伝えたい!との思いで作りました。

健康保育学科

2年次生以降の実習に向けて、基礎的な知識や技術を高めるために、講義が多くあり大変でした。しかし、1年間ずっと椅子と仲良くしていたというわけではありません。実際に自分で体験して学ぶということで、物を作ったり、教室の外に出たりして行う体験型の講義もありました。他学科と比べ、遊んでいるように見えるかもしれませんが、楽しみながら技術を習得することができました。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、自分達の学びを発表する場がなく、やっと12月に表現発表会を開催できました。音楽劇「スイミー」「おおきなかぶ」を披露しました=写真。短い準備期間の中、協力し合って準備を進めました。来年度から始まる実習では、1年間で得た学びを最大限生かして、自分らしく取り組みたいです。



看護学科

講義・演習・実習は、想像以上に忙しく大変な毎日でしたが、医療職に就く者としての責任を自覚することができました。初めて学ぶことばかりでしたが、講義と演習と並行

して学習するなかで、知識を深めて行くことができました。実技テスト前の空き時間に友達と演習室に集まって、看護の練習をしたことは良い思い出です。ときには患者役を行うことで、患者さんの気持ちを体感することができました=写真。

訪問実習・施設実習・病院実習を行い、実際の看護現場を見学しました。患者さんとのコミュニケーションの取り方や施設内の工夫についても学びました。また、新見の地域性を活かしたスキー実習もあります。3日間ですが、初心者で滑ることができなかつた人も、最終日には楽しく滑れるようになっていました。これからも仲間と励まし合いながら、精進していきたいです。

地域福祉学科

基礎知識などを学ぶ講義に加え、演習や体験実習などがありました。演習では、福祉現場で使われるコミュニケーション技法を用いた対話、相談者のニーズの充実化を図るための支援について学びました。福祉事業所での体験学習では、実際に作業の手伝いやレクリエーションに参加しました。そして、利用者さんとの交流により、充実した体験をすることができました。

基礎ゼミナールや共生社会実践演習では新見市内の高尾や上市で地域の歴史や文化を学んで住民と交流、コミュニケーション能力を高めることができました。また、神郷高瀬では、ソバ栽培を体験しました。そして、これらの体験を基に「地域活性化のために私達ができること」を考えました。それぞれ発表会を行い=写真、お世話になった方々にも見ていただきました。



サークル活動紹介

サークル紹介では、新見公立大学の活動的なサークルを随時紹介します。
今回は、軟式野球部とダンス部に取材させていただきました。



人数→22名(内マネージャー2名)

時間→水曜日 15:00~

場所→学内グラウンド、矢崎グラウンド
体育館(雨天時)

内容→キャッチボール、ノック、バッティング



人数→70名

時間→平日 18:30~20:00

場所→リズム教室、体育館

内容→大学祭やクリスマス会、地域のお祭りに向けてのダンス練習

最近はインスタグラムにも投稿しています!



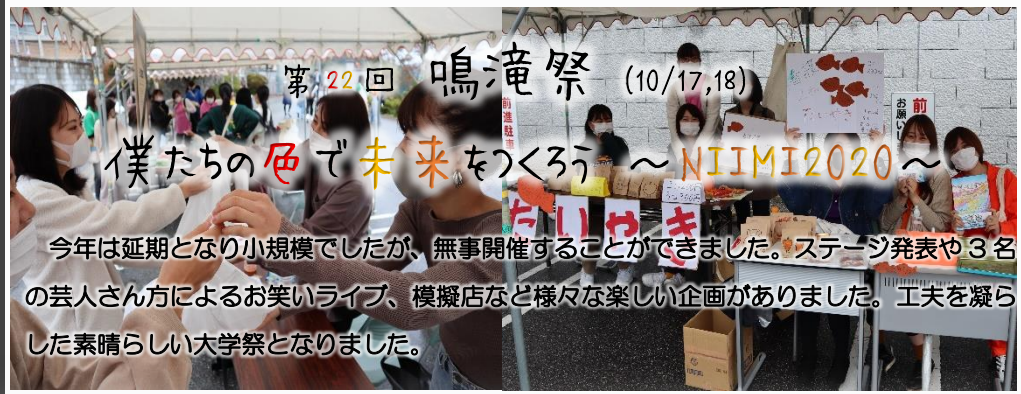
私達軟式野球部は、野球の経験の有無に関わらず、常に楽しく常に全力でプレーしています。お互い教え合ったり、競い合ったりしながら日々練習を行っています。野球の技術を身に付けると同時に、社会性やコミュニケーション能力なども身に付けたい部活動に励んでいます。また、プレイヤーとしてはもちろん、人としても成長できるよう、これから頑張っていきます。

私達ダンス部は、多くの部員で本番に向けて楽しく練習しています! 一度しかない学生生活が充実できるよう、10人のリーダーを中心にイベントやダンス種別、画の撮影を行い、インスタグラムに投稿しています。また、地域のお祭りやYouTubeにも出演し、地域との交流も行っています。今後は、他大学との交流も行いたいです!



今年度、新見公立
大学で開催され
た行事の中から、
大きなイベント
を2つピックア
ップし、主催者
の方にインタビ
ューをしました。

NIJU EVENT MEMORY



今年は延期となり小規模でしたが、無事開催することができました。ステージ発表や3名の芸人さん方によるお笑いライブ、模擬店など様々な楽しい企画がありました。工夫を凝らした素晴らしい大学祭となりました。

鳴滝祭実行委員長 健康保育学科2年 森川詩桜さんもりかわし おにインタビュー！

鳴滝祭を終えてどうですか？

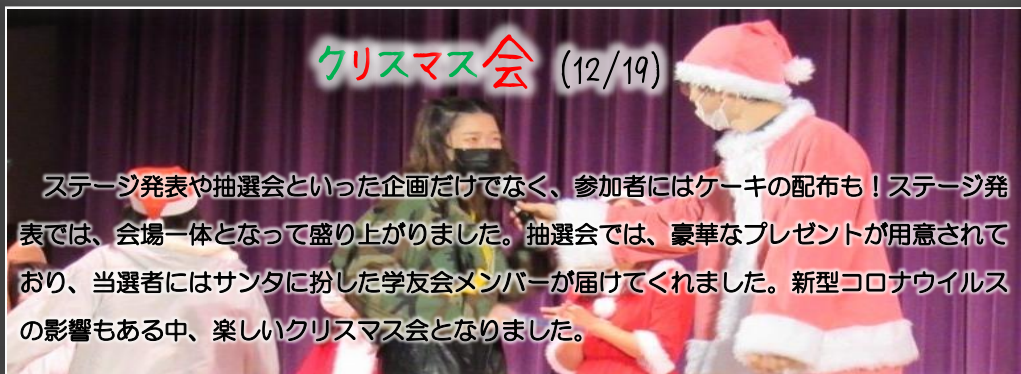
今まで、リーダーのような立場の仕事に就いたことがなく、はじめは自分に実行委員長が務まるのか心配でしたが良い経験になりました。無事に開催することができ、やりがいを感じました。

鳴滝祭を開催するにあたって大変だったことは？

新型コロナウイルスの影響があり、例年とは異なるイレギュラーな開催だったので、感染症対策などを考え、新しい形の企画・運営をすることが1番大変でした。

印象に残っていることは？

お笑いライブです。新型コロナウイルスが流行している中、実際に芸人さん方が来てくださり、学生や地域の人々が一緒に楽しむことができました。



ステージ発表や抽選会といった企画だけでなく、参加者にはケーキの配布も！ステージ発表では、会場一体となって盛り上がりました。抽選会では、豪華なプレゼントが用意されており、当選者にはサンタに扮した学友会メンバーが届けてくれました。新型コロナウイルスの影響もある中、楽しいクリスマス会となりました。

学友会会長 看護学科2年 中村和人さんなかむら かすとにインタビュー！

クリスマス会を終えてどうですか？

今年は、スポーツ大会や学生交流会などの行事が行えず、学友会としてもなんとかクリスマス会を開催して、学生の皆さんに楽しんでもらおうと意気込んでいました。無事終え、学生の皆さんの笑顔を見ることができてとても嬉しかったです。今回、開催できたのも学生の皆さんやダンス部、軽音部、演出部、学校関係者の皆さんの協力のおかげです。来年はもっと楽しんでもらえるよう、計画していきたいです。

クリスマス会を開催するにあたって1番大変だったことはなんですか？

今年は新型コロナウイルス感染対策を考えないといけなかったため、密にならないように、開催場所の変更や検温、開催時間の短縮など初めてのことで試行錯誤が大変でした。



私達学生を応援してくださる地域の
方々の温かさを感じました。

野菜のほか果物やお米、漬物といった食べ物、
日用品など様々な物をいただけて感謝の気持ち
でいっぱいです。いただいた野菜は、きんぴらやシ
チュー、お鍋などにして美味しくいただきました。

食材だけでなく、皆さんからいただいた「心」
を、形にして還せるように頑張っていきたいです。

JA 女性部のみなさん

食材提供 ありがとうございました



今年度、JA 女性部の皆様が、私達大学生のために、野菜や食料品などといったものを無償で提供してくださいました。
コロナ禍において、私達を応援してくださっている地域の方々の温かさにご気づくことができました。
本当にありがとうございました。

暑い中や雨の中、私達のために準備をして、笑顔で
手渡していただき、とてもありがたかったです。

桃などのフルーツは、一人暮らしだと滅多に買
わないので、嬉しかったです。本当にありがと
うございます！ 皆さんもお体に気を付けてお過
ごください。

野菜が値上がりしているので、無料で
いただけるのは助かります。食材を笑顔
で渡していただいて、元気をもらいました。



【食材提供団体等】 6/4・9(JA 大根部会) 6/24(JA 上市・駅前)7/15(JA 菅生・熊谷) 8/5(JA 千屋・相文・大佐・
神代) 9/9(JA 荒砥・萬歳・本郷) 9/18(JA 花き・ピオネー・水稲担い手部会) 10/14(JA 美穀・井倉・草間・豊永・矢
神・野馳、トマト・桃部会) 11/11(JA 美穀・井倉・草間・大佐・神代) 11/20(キャベツ提供) 12/9(JA 千屋・相文・新
砥・萬歳・本郷、新見市社会福祉協議会) 1/22(JA 上市・菅生・熊谷・駅前) 2/10(JA 矢神・野馳)
各支店、営業所、出張所等の皆様に感謝いたします。



思ったときにやってみる
挑戦してみる

農業を始めたきっかけは？

長女が2歳のころ、大阪で地質調査の仕事をしていました。長女が朝起きる前に仕事に行き、夜寝てしまった後に帰宅するという生活で、「父親とはこんなものか？」と疑問を抱くようになりました。自分の幼少期の田舎暮らしや仕事で訪れた先の田舎の様子から、田舎で子育てや仕事をしたいと考え、岡山県の農業研修制度がきっかけとなって新見でピオーネを作ることになりました。

〈お話を聞いて〉

32歳で農業を始めるということは、勇気がいることだと思いました。自分が「楽しそう、やってみたい」と思ったとき、一歩前に踏み出して行動に移すことは簡単ではなく、それを仕事として家庭を支えていくとなればなおさらです。興味はあるがなかなか手を出せないのが現実。だから、神山さんの転職、生活の場所までも変えたというお話はとても衝撃的でした。全く知らない土地で、イチから始める仕事。最初は不安も大きかったはずだけど、家庭の存在が神山さんの支えになったのではないかと感じました。

これからの目標は？

まず、地域の人達への恩返し。ブドウ、狩猟など周りの人達が大切にしてきたものを自分も守っていきたい。それに加えて、産地、耕地の維持も重要だと考えています。

〈お話を聞いて〉

仕事への情熱や愛情を感じました。偶来た土地で生活する中で、自分の役割はもちろん、自分が農業をするだけでなく、高齢化が進んでいる新見でお年寄りの支えにもなっている姿に感動しました。また、新見という農産地の未来についても考えていっしょやり、若い世代への期待も感じました。

若者にどうしてほしいですか？

一つのことを続けるのもいいけど、自分が思ったときに何かを始めてみるのが大切。「歳だから」「若すぎるから」という理由で諦めてしまうのではなく、まずは挑戦してほしい！

〈お話を聞いて〉

挑戦することは、行動力がないと難しいことのように思うが、まずは簡単なことから始めてみるのが大切だと感じました。神山さんは、普通で特別なことではないようにお話しされていたのがとても印象的で、夢を与えてもらいました。新見の特産品を詳しく知りたいと思って取材させていただいたが、神山さんのお話を聞いてもっと深いことを学ばせていただきました。新しいことにチャレンジする勇気をもらい、貴重な体験となりました。



④神山さんのぶどう園

⑤たわわに実ったピオーネ



取材先 (株)アグリーワークス(新見市足見) 代表取締役 かみやまじゅんいち 神山 順一さん



と追求

チョコレートを食べ

チョコのカフェを始めたきっかけは？

変わったチョコレートを作りたいと思い、インターネットで調べて見つけたのが「カカオ豆から作るチョコレート」。本当にできるのかと疑問に思い、実際に作ってみることにしました。ふたりで交代しながら4時間カカオを擦り続け、できたのはまだ粒が残るどろっとしたチョコレート。固めて食べるとカカオの風味が口いっぱいに広がりました。その時の感動は今でも忘れることはできません。カカオの魅力をみんなに伝えたいと強く思うようになり、定年退職後に温暖な高知を離れ、チョコレートを作るのに適した涼しい土地でカフェを開くことを決意しました。そして、参加した新見市の移住ツアーで、理想的な家が見つかり、定年前ではありましたが古民家を借りてカフェを開くことができました。



これからの目標は？

さらに美味しいチョコレートを追求したい！同じ豆を使用しても焙炒や温度によって酸味の出方が違うといった、チョコレートの奥深さをみんなに伝えたいと思っています。

bean to bar(カカオ豆からチョコレートになるまでの一貫製造)で、カカオの味を損なうことなく、甘みを感じることができるようなチョコレートを作るために日々努力をしています。また、地域の人にもチョコレート作りに興味を持ってもらいたいので、体験教室を積極的に開きたいと思っています。



㊤カカオ豆から作ったチョコ
㊦ホットサンドとドリンク

若者にどうしてほしいですか？

もっともっとチョコレートを好きになってほしいです。チョコレートの奥深さを知って、甘みだけでなくカカオの風味も感じてほしいです。そして、チョコレート作りにも興味を持ち、若い発想のチョコレートでみんなを幸せにしてほしいです。

〈お話を聞いて〉

自分の好きなチョコレートについて楽しそうに話される姿がとても印象的でした。自分の感動をみんなにも体験してほしいという願いがひしひしと伝わり、青木さんのチョコレートに対する思いの深さを感じられました。正田公民館で行われたチョコレート作り教室を取材してみて、チョコレートは老若男女問わず広く愛されていることも実感し、これをきっかけに地域の人同士の交流の場が増えていけばと思います。また、疑問を抱いて自分で確かめる探究心についても学ばせていただきました。「本当に？」「なぜ？」という疑問から興味が生まれ、これを追求していくことは、専門分野を学ぶ私達にとって見習うべきことだと思いました。

新見の街から少し離れた場所にあるお店を大学生に紹介したいと思い、取材させていただきました。そして、チョコレートの魅力や、探究心の大切さ、地域の人々のやさしさや繋がりについても学ぶことができ、有意義な時間となりました。



正田公民館のチョコレート作り教室
(中央が青木加代さん)

取材先 CHOCO's Cafe Fuku(新見市上熊谷) 青木加代・康廣さん



新棟で地域共生推進センター「鳴滝塾」

本学に 2020 年秋、新棟「地域共生推進センター棟」が完成しました。新見市街を一望できるビューラウンジ、パン屋やコンビニエンスストアが併設されたコミュニティカフェ、看護実習室、400 人を収容できる講堂などがあります＝表紙写真。



昨年 12 月 5 日には講堂で鳴滝塾が開かれ、新見市長屋出身でシップヘルスケアホールディングス株式会社(東証一部・大阪府吹田市)の代表取締役社長 CEO・古川國久氏の講演「歩んできた道」が行われました＝写真。



ふらりゆらりパンめぐり

ふらっとよってみては
いかがですか？

手作り幸房 Romi



小さなお店の中には 30～40 種類もの香り豊かなパンと明るい店主の野田さん。国産小麦 100% のパンを曜日ごとに種類を変えて販売されています。特に耳までふわふわの食パンが人気で、幅広い世代に愛されています。
(新見市新見)

パンとツカイモノの店 松陰



店主の金山さんは、新見の人の優しさに魅せられて新見でパン屋さんを始められました。無添加でやさしい味が特徴のパンと、多数のツカイモノ(役立つもの、贈り物)が販売されています。
(新見市西方)

米粉パンの店 こめ工房



パンの生地には哲西で収穫されたお米が使われています。地産地消を身近に感じることができるのも魅力です。米粉特有のもちもち食感が特徴。本学でも移動販売を行っています。
(新見市哲西町矢田)

「なるたき」の題字ロゴ

新見市在住のイラストレーター YOSHI さんをお願いして作っていただきました。色々なパターンのロゴを作成していただいた中から、編集メンバーで厳選しました。YOSHI さん、ありがとうございました!



～編集後記～

フリーペーパー「なるたき」第 2 号を作成するにあたって、第 1 号からパワーアップしたものをと意気込み、企画や取材等を 1 年間行ってきました。時には、自分達の理想と実力や現状の差に悩むこともありましたが、みんなで助け合い、思いの詰まったフリーペーパーが完成し、第 2 号発行までに無事にたどり着けたことに安堵しています。「なるたき」に目を通してくださった皆様、協力してくださった皆様、本当にありがとうございました。